

驚異の勝率(97.2%)を誇る  
 サヤトレード術を完全公開！  
 ~確率論に基づく科学的投資手法  
 上野式サヤ取りの神髄~

サヤ取りの優位性

- 個人投資家で生涯利益が出る人はわずか5%未満である  
 上位1%に食い込めば億万長者になれる ⇒ 優位性のあるトレード方法を習得することが必須条件
- 年間勝率97.2%を記録したサヤ取りの優位性とは？
  - 歴史が証明している
    - ユダヤ系のロスチャイルド財閥の伝統の蓄財方法
    - ヘッジファンドの手法 関係者は、「Free Lunch(ただ飯)」と呼んでいる
  - 私の実績(アマチュア時代) 2005/8/25~2006/7/31 250セット中243セットで勝ち 勝率97.2%

サヤ取りの基本ルール

- 注目するのはサヤの動きだけ
  - A銘柄の価格 - B銘柄の価格 = C(サヤ) A・Bを無視して、C(サヤ)の値動きだけを追う
  - A銘柄 = 軸銘柄 価格が大きい銘柄
  - B銘柄 = 脇銘柄 価格が小さい銘柄
  - ∴ 通常はC(サヤ)は正の値になる 順ザヤ ⇔ 負の値 逆ザヤ
- 売買のしかた
  - 縮小狙い 軸銘柄売り ⇒ 脇銘柄買い
  - 拡大狙い 脇銘柄売り ⇒ 軸銘柄買い
- 仕掛けは「同時出会い」 ⇒ 手仕舞いは「両外し」

サヤ取りの方法論

- 商品先物のサヤ取りの特徴 サヤ取りの王道であり最も簡単
  - メリット 相関関係が高く、理論的である(偶然性に左右されない) 約10倍~20倍のレバレッジが効くので、少ない資金で始めることができる
  - デメリット 市場規模が小さいので、スリッページが起こりやすい
- 限月間サヤ取りと銘柄間サヤ取り
  - 限月間 6番限 - 3番限 相関係数
    - 穀物 東京トウモロコシ 0.954 東京一般大豆 0.821
    - 工業品 東京ガソリン 0.997 東京灯油 0.993
  - 銘柄間
    - 東京トウモロコシ2倍 × 東京一般大豆 相関係数0.633 同じ穀倉地帯でほぼ同時に栽培される
    - 東京ガソリン × 東京原油 相関係数0.983 クラックスプレッド 精製マージンに着目
- 日経・東工取商品指数(TOCOM\_NEXT)とは？
  - 基礎知識・取引条件
  - サヤ取りへの活かし方 ⇒ 全く新しいサヤ取り戦略・取組みが誕生
  - 東京ガソリン6番限 × TOCOM\_NEXT200倍 相関係数0.880 全体(指数)と部分(構成銘柄)

上野式の特徴

- 相関係数の把握が命 長期(2年)も短期(3ヶ月)も相関が崩れない取組みこそ宝
- 標準偏差(σ)の把握
  - 相関係数の高い銘柄間のサヤは正規分布する ⇒ 確率論をベースにサヤ取りができる
  - 利益確定とロスカットの単位にもなる 損小利大の原則